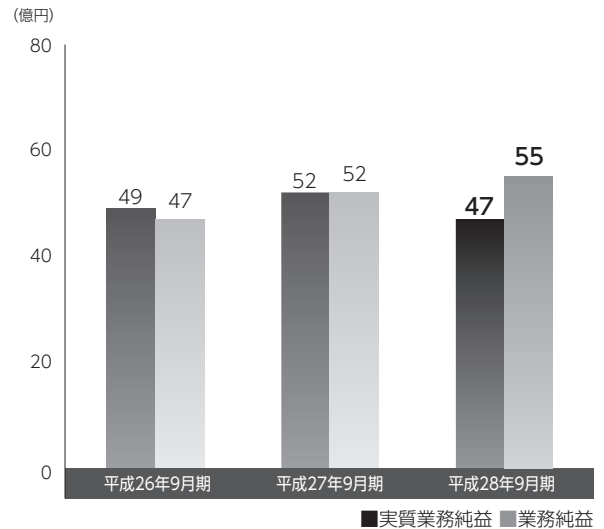


実質業務純益と業務純益

実質業務純益は、国債等債券関係損益は増加しましたが、資金利益や役務取引等利益の減少等により、前年同期比5億21百万円減少の47億39百万円となりました。業務純益は、一般貸倒引当金が戻入れとなったことにより、前年同期比3億27百万円増加の55億87百万円となりました。

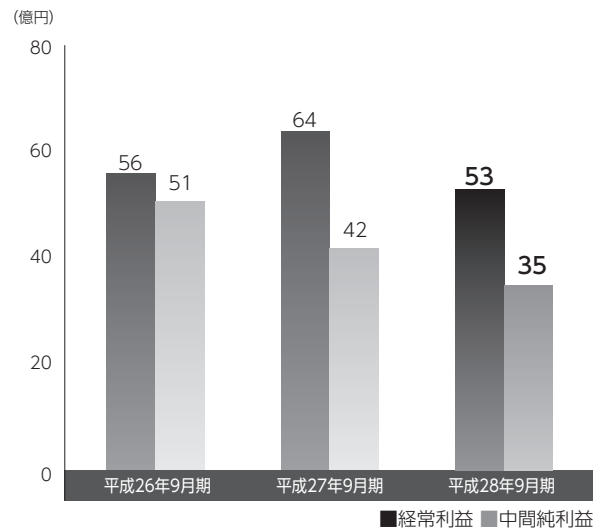
実質業務純益と業務純益



経常利益と中間純利益

経常収益は、資金運用収益や役務取引等収益の減少等により、前年同期比14億14百万円減少し224億9百万円となりました。経常費用は、与信関係費用は増加しましたが、国債等債券償還損の減少等により、前年同期比2億84百万円減少し171億1百万円となりました。この結果、経常利益は、前年同期比11億31百万円減少し53億7百万円、中間純利益は7億12百万円減少の35億57百万円となりました。

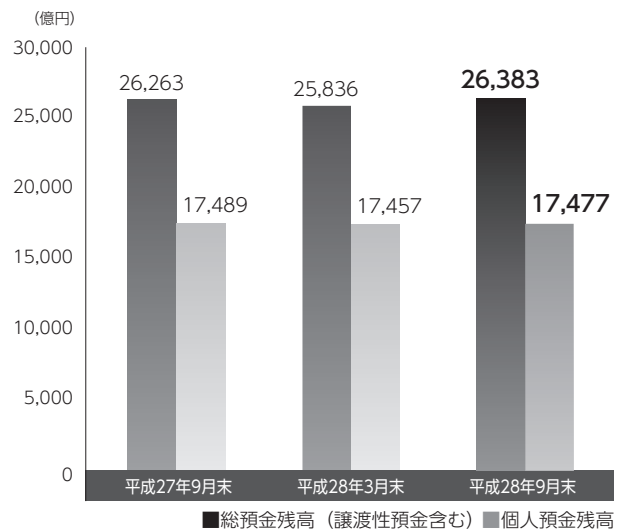
経常利益と中間純利益



総預金と個人預金

総預金（譲渡性預金を含む）は、個人預金は減少しましたが、法人等預金と譲渡性預金の増加により、前年同期末比120億円増加の2兆6,383億円となりました。前年度末比では547億円増加しました。

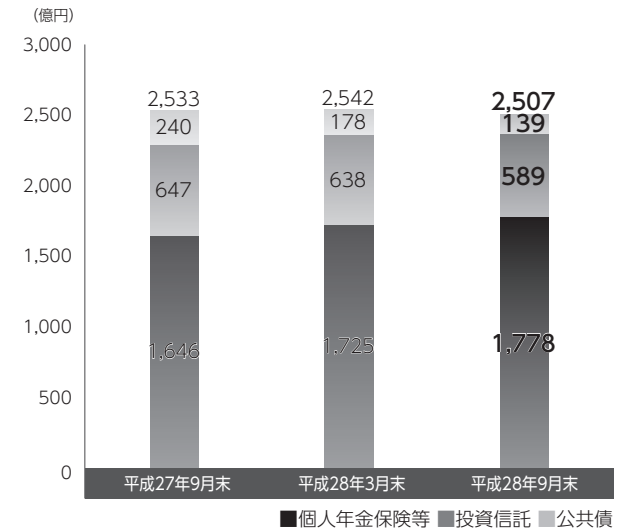
総預金残高（譲渡性預金含む）と個人預金残高



個人預り資産

個人預り資産（除く預金）は、お客さまの資金運用ニーズの多様化に対応しておりますが、個人年金保険等は増加しましたが、公共債と投資信託の減少により、前年同期末比26億円減少の2,507億円となりました。前年度末比では35億円減少しました。

個人預り資産残高(個人年金保険等、投資信託、公共債)

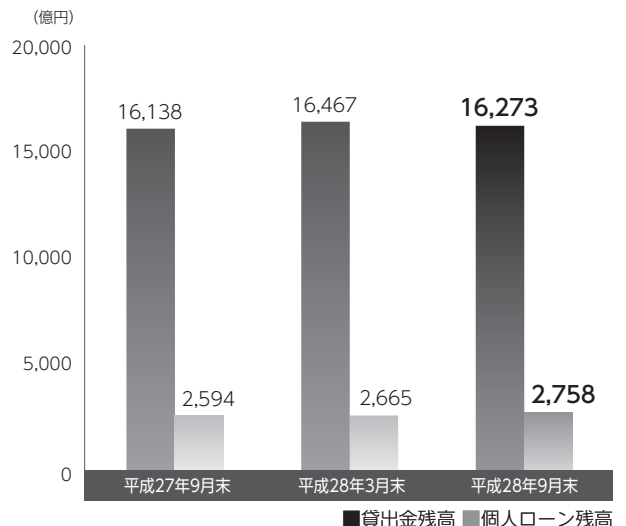


貸出金と個人ローン

貸出金は、個人向け貸出金と中小企業向け貸出金の増加により、前年同期末比135億円増加の1兆6,273億円となりました。前年度末比では194億円減少しました。

個人ローンは、住宅ローン、その他ローンが共に増加し、前年同期末比164億円増加の2,758億円となりました。前年度末比では93億円増加しました。

貸出金残高と個人ローン残高



有価証券

有価証券は、資金の効率的運用に努めましたが、前年同期末比52億円減少の1兆919億円となりました。前年度末比では99億円増加しました。

有価証券残高

